



この度の豪雨災害により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。くれぐれもご自愛いただき、一日も早く復旧されますことを心よりお祈り申し上げます。

## 岡山県内 平成30年7月豪雨による被害状況（平成30年7月25日現在）

### 人的被害

死亡者		行方不明者		重傷		軽傷	
合計	61人	合計	3人	合計	8人	合計	152人
倉敷市	52人						
(うち真備町)	51人)						

### 住家被害

全壊		半壊		一部損壊		床上浸水		床下浸水	
合計	2827棟	合計	691棟	合計	213棟	合計	約5510棟	合計	約6130棟
うち倉敷市	2806棟	うち倉敷市	665棟	うち倉敷市	147棟	うち倉敷市	450棟	うち倉敷市	1棟

**避難所数 73箇所 2603人 うち倉敷市 2336人**  
以下は、優食スタッフによるレポートの抜粋です

※当社では倉敷市より依頼を受けて、一部避難所にお弁当をお届けしております。

7/7朝のニュースではまだ被害状況などがわからずいつもより早めに出社しました。まずは、真備高齢者支援センターに電話しましたが真備全域で電話がつかないことが判明しました。知人から見せてもらった写真では、真備全体が水で覆われ見慣れた看板も見えなくなっている状態にショックを受けました。 小野

7/7 真備地区の配達を担当しております。いつも来ている街とは到底思えないほどの惨事に言葉を失いました。いろいろな物が散乱し、車やトラックまでひっくり返り、街は茶色一色でした。車で前に進んでは通行不能で戻りの繰り返しで、到達できたお客様には驚かれる方もいらっしゃいました。足が不自由で逃げ遅れたお客様とこのことを思い出すと本当に悲しくなります。やっと最近ライフラインが少しずつ回復し、在宅のお客様達は喜ばれています。 石原

7/7 配達不可能なお客様へ電話連絡をいたしました。道路通行止めにより7/7は約70人、7/8は約20人の方に配達ができませんでした。真備地区のお客様へ電話が通じず、ご家族の方に連絡をさせていただきましたが、他県の方にはなるべく倉敷の状況が伝わるように努めました。水島や種松山でも土砂崩れで避難、高梁川付近もイオンの駐車場に避難と聞き、身近なところでこのような事態が起こり信じ難い思いでした。 中村

7/8 真備地区で水が引かず配達不可能なお客様の対応に追われました。固定電話、携帯電話、ケアマネージャー様にも電話が繋がらず、安否確認やお弁当の持ち帰り状況を健康長寿課に連絡しました。前日には通れた道も翌日には通行止めになっていたり、迂回してお届けできるかどうか、その都度配達生の声がおお客様の対応に役立ちました。いろいろな業務に追われ、お客様への対応と配達スタッフの安全の確保が正しくできたか考えさせられました。 安達

7/9 亡くなられた方、避難されている方、ご家族、水害は免れたがライフラインが止まり困っている方、対応に追われるケアマネージャー様などからたくさんの連絡が入り、事の重大さを日々感じました。叔父の自宅も工場の爆発でガラスが割れ、その後天井近くまで水に浸かり小学校で避難生活を続けています。復興にはかなりの時間がかかりそうで、長期での支援が必要だと感じました。 美甘

7/10 市からの調査依頼もあり、現地へ状況確認に行き参りました。水は大方引いていましたが市街を中心に被害は想像以上でした。お客様の大半は無事避難されましたが、2名の方が亡くなられました。いずれも一人暮らしの方で、動きの不自由な方でした。 今城

当社のスタッフも、もちろん初めての経験に、とまどいながらもできる限りの対応をさせていただきましたが、至らなかつた点も多く、多々ご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。今回の経験を反省・記録することで、またいつ襲われるかわからない災害に向け対策を取らせていただきたいと思います。この度はいろいろとご協力いただきありがとうございました。



# 優食



体に優しい 優れたバランス